

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価 1部2円 発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	統一自治体選挙の取り組みに各支部、分会から結集を。推薦候補者の支持拡大に取り組もう。
		No.2326 2015年 7月2日	

人員確保の取り組み

7月1日付け・11人を新採用

職場実態から、さらなる補充要求へ

県職労は、これまでの当局交渉において、欠員解消対策として人員確保を要求し、7月1日付けの特別採用で、11人の新採用が実現した。新採用者は、7月1日付に辞令を受け、各職場へ配属となった。

4月当初段階で145人の欠員を確認していたことに加え、その後の異動等によりさらに欠員が増える状況となっていた。今回の採用で、わずかではあるが人員が確保された。しかし、今年の分会基礎調査において欠員数以上に人員が不足している実態が明らかになっており、職場からは限界との声が出ている。県職労ではさらなる人員確保、職場改善に向け、取り組みを強化していく。

今回の特別採用については、Ⅲ種職員（高卒以上）を対象としており、11人の採用となった。昨年度3月に行った人事課総括課長との春闘要求交渉において、欠員解消策を求めたところ、7月1日付け採用に向け、特別募集を行い、10人程度の採用を行うとの回答があったもの。県職労から欠員数に対して募集人員が少ないとの指摘をしたところ、試験の状況により10人を超えて採用するとの回答を引き出し、今回11人の採用が実現した。

今年度に入り職場からは昨年以上に人員不足の声が多くあがっており、人員確保は喫緊の課題である。人員が減った場合、業務の調整を行わなければならないが、その管理が欠落している実態から、膨大な業務量を少ない人数でこなすことを求められ、働けるだけ働かされ、結果、心身に不調をきたす職員も少なくない。病休となれば、さらに人員不足となる悪循環が生まれるなど、まさにブラック企業と言われる実態が生じている。

これらの課題に対し、県職労では職場実態を要求につなげるため、分会基礎調査を実施、6月段階での集計を行ったところ、114分会から回答があり、欠員数91人に対し、要求人員は170人と欠員数以上に人員が不足している実態が明らかになっている。これらの実態を基に、人員確保の取り組みをさらに強化していく。

7月1日付け新採用職員 配置支部	
県庁支部	3人
盛岡支部	2人
一関支部	1人
気仙支部	2人
宮古支部	2人
二戸支部	1人
合計	11人

統一自治体選挙へ向け支持拡大を

県職労では、私たちの職場・生活を改善するため、政治闘争を取り組むことを方針に掲げ、各地区選挙において、推薦候補者の勝利に向け、支持拡大の取り組みを行っています。

各組合員のご協力をよろしくお願いします。

組織内候補者

●二戸市議会議員選挙

(7月19日告示、7月26日投票)

すずき ちゅう こう

鈴木忠幸



県職労定期大会にて

推薦候補者

●岩手県議会議員選挙

(8月28日告示、9月6日投票)

盛岡選挙区

小西和子

(62歳 現職2期)

花巻選挙区

木村幸弘

(55歳 現職2期)

一関選挙区

千葉進

(60歳 新人)

推薦候補者

●雫石町議会議員選挙

(7月7日告示、7月12日投票)

坂下栄一

(62歳 現職4期)

●滝沢市議会議員選挙

(7月19日告示、7月26日投票)

山谷仁

(64歳 現職4期)

●久慈市議会議員選挙

(7月19日告示、7月26日投票)

豊巻直子

(64歳 現職4期)

●盛岡市議会議員選挙

(8月16日告示、8月23日投票)

中村亨

(56歳 現職1期)

各地区での支持拡大の取り組みや、候補者の政策や意見を聞く機会がありましたら、ぜひご参加下さい。